

# 絆

題字

新潟市教育委員会  
阿部愛子教育長

新潟市  
青少年育成協議会

## 第5号

●発行●  
平成27年1月27日

●事務局●  
新潟市教育委員会  
生涯学習課  
青少年・地域と学校連携室

### 市育成協議会活動に 積極的参加を



新潟市青少年育成協議会  
会長 白倉 政男

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、日頃から新潟市青少年育成協議会の活動に対して、ご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。また、各々の地区育成協議会では特色のある活動を展開していただいておりますことに感謝いたします。

市育成協議会には、四十五地区育成協議会があります。地区育成協議会をまとめていくのが市育成協議会です。新潟市からの補助金をいただくための受皿ではありません。市育成協議会では「わたしの主張」新潟市地区大会並びに会長・事務局研修会を主催しています。また、新潟市青少年育成団体連絡会議に参加し、健全育成講演会や万引き防止街頭PR大作戦を実施しています。

地区育成協議会の皆様には、事務局を

とおして参加をお願いしていますが参加者が非常に少なく苦慮しています。総会や会長・事務局研修会は七割程度、わたしの主張は数地区の参加にとどまっています。皆様の積極的な参加をお願いします。

市育成協議会全体で取り組む事業として三年程前から万引き防止街頭PR大作戦に合わせて各地区で街頭PRをお願いしたところ二十六年度は数地区（区単位の実施も含む）から実施していただきました。これを全育成協議会に拡大していきたいと思っております。

話は変わりますが、地区育成協議会では、他団体との連携や資金、人材等に大きな問題を抱えているところもあると思います。特に、地域コミュニティ協議会との関係は一育成協議会に一地域コミュニティ協議会とはなっていない所が有りますので複雑な問題です。

私たちが育成協議会は地域の子供の健全育成を願って活動している団体です。地域コミュニティ協議会、学校、PTA等と協力して地域の子供は地域で育むとの理念のもと活動していきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願いします。

### 平成二十六年年度 県・市功労者表彰受賞者紹介

新潟県青少年健全育成県民会議  
会長表彰

大形地区 佐藤 清様

地域巡回や環境美化活動等に取り組むとともに、新潟市補導員、青少年育成員として、街頭育成活動を中心に青少年の非行防止及び健全育成活動に献身的に従事し、育成委員としての活動姿勢は他の模範となりました。

早通地区 岡本 新一様

地域巡回や声かけ・相談など、非行防止・健全育成に精通したこれまでの取り組みは他の模範となりました。また、居場所のない子どもたちのための居場所「アリーロード」の準備から開設まで中心的な役割を果たし、運営にも積極的に関わっております。

### 新潟市青少年育成協議会 功労者表彰

松浜地区 堀 建一郎様

新潟市青少年育成員（地区リーダー）、青色パトライต์・パトロール隊員として、街頭育成活動を中心に、青少年の非行防止及び健全育成活動に献身的に従事し、その活動姿勢は他の模範となりました。



大形地区 櫻井 悦子様

地区街頭育成部長として、街頭パトロール活動を中心に、青少年の非行防止に従事、又民生委員の経験を生かした健全育成活動は大形育成協会の活性化に大きく貢献し他の模範となりました。

寄居地区 水野 透様

地区青少年育成協会会長として、保護者、地域の方々を講師に「生き方講演会」等を企画し健全育成活動に貢献、又防災活動、環境整備等を手掛け、その活動姿勢は他の模範となりました。

亀田地区 山口 好子様

街頭指導員として、街頭育成活動を中心に青少年の非行防止に従事、又協議会の副会長として、「わたしの主張」の開催、「会報」の発行等、健全育成活動に積極的に参加し、その活動姿勢は他の模範となりました。

五十嵐中学校区 小野奈美江様

主任児童委員として、街頭育成活動等に参加し、細やかなサポートで青少年の非行防止及び健全育成活動に成果をあげ、又育成協活動に取り組む積極的な姿勢は他の模範となりました。

荻地区 佐藤 信子様

地区青少年育成協議会発足から、健全育成部員として、地区のパトロール、危険個所の安全点検、万引き防止キャンペーン、青少年を取り巻く社会環境の浄化推進等に尽力し、その活動姿勢は他の模範となりました。

受賞おめでとうございました。

# 各区青少年育成協議会活動紹介



4月に区一斉のクリーン作戦を行いました。約9,000人の方が各町内毎参加され、ごみ収集をしました。区内がきれいになりました。

秋葉区



早通地区「中高生らの居場所「アーリーロード」」では、今年から大学生の協力を得て学習支援を始めました。

北区



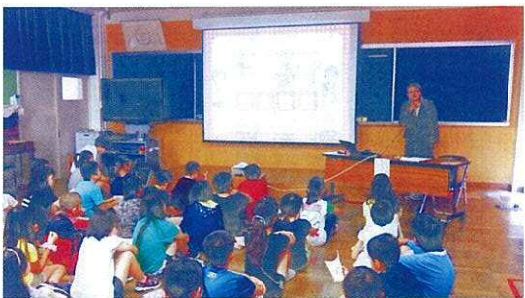
小針中育成協では11月29日、生徒地域交流もちつき大会を行い、300人の参加を見、地域みな助け合いの心で意気投合。

西区



「第4回新潟県地域安全マップづくりコンテスト」で、応募92作品の中で、優秀賞（新潟県警察本部長賞）を受賞しました。（大形地区育成協）

東区



安全なケータイの使い方を学びネット問題に巻き込まれないようにと7月に白根小学校で小学5・6年生を対象に「ケータイ安全教室」を開催。

南区



12月7日「年末非行防止キャンペーン」を新潟駅南口に集合し、駅周辺で歩行者にマスク入りのチラシを配布し協力をお願い致しました。

中央区



西蒲区青少年育成協議会では、西蒲警察、防犯協会、保護司会と連携して万引き防止キャンペーンを実施しました。

西蒲区



江南地区育成協として、12月5日に亀田駅連絡通路において、江南警察署と連携して万引き防止キャンペーンを実施しました。

江南区

わたしの主張

新潟市地区大会開催

「わたしの主張新潟市地区大会」（主催新潟市教育委員会、新潟市青少年育成協議団体連絡会議）が八月二十四日（日）万代市民会館（新潟市中央区）を会場に開催されました。

市内の中学校十七校、約千七百名の応募者から、書類選考を通過した十二名の中学生が日ごろ考えている思いを率直に熱く語りました。

最優秀賞には、両川中学校三年 矢部望実さんが選ばれました。

矢部さんは新潟市地区代表として九月二十日に 村上市民ふれあいセンター



で開かれた県大会に出場し新潟市地区代表にふさわしい素晴らしい発表をされました。

「わたしの主張新潟市地区大会」に、ご支援とご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

本年もよろしくお願いたします。

平成二十六年度 わたしの主張

新潟市地区大会 最優秀作品

テーマ「私にとって大切な存在」



両川中学校 三年 矢部望実さん

私にとって身近にある大切な存在は何かと問われると、最初に頭に浮かぶのは家族だ。生まれてから一番長い時間を過ごしてきた。私が、一番お世話になってる人たちである。次に浮かぶのは友人や先生。私の可能性を伸ばして、大きく成長させてくれる人たち。考えていくうちに大切な存在は数えきれないほどあると思った。数えきれないほどあると思われるものの筆頭にくるもの。それは地域だ。私は、生まれてから今日に至るまでずっと「両川」という地域で生活してきた。両川は自然豊かで、優しい心を持つた地域の方々がたくさんいる。そんな温かな環境に囲まれて生活できることを嬉しく思う。

温かな地域、両川ならではの行事といったら祭りだ。子どもから大人、おじいちゃん、おばあちゃんまで幅広い世代の方々にぎわう。私の住む嘉瀬という地域では、毎年嘉瀬祭りが行われている。

その中で、小中学生が踊る「花笠」というものがある。花をまとった笠を、曲

に合わせて踊りながら回すというものだ。見た目は難しそうには見えないが、足と笠を回すタイミングをなかなか合わせられない。皆、コツをつかむのに時間がかかるらしい。しかし、参加者全員の祭りに対する情熱はものすごい。

そんな嘉瀬祭りは、二年前のふたかわ祭りのミュージカルで取り上げられた。ふたかわ祭とは両川の小中学校合同で行われる文化祭で、中学校は十一年前から両川をテーマにしたミュージカルを創作し、上演している。二年前のミュージカルは、祭りの練習をまじめにやらない主人公が祖父から聞いた言葉で祭りの大切さに気づく。そして、これからもこの伝統を引き継いでいこう。と決心するというストーリーだった。私は、このミュージカルにキャストとして出演したが、話の中で問題にされていることが気になった。それは次世代の若者の減少。これは、ミュージカルの中だけでなく、両川の現在を表している。だから、とても深刻な問題なのだ。祭りに参加する人、担い手が不足することによって、まずは活気がなくなってくるだろう。盛り上がり欠ける祭りは祭りと呼べない。次に起こると考えられることは、伝統を引き継ぐ後継者の減少である。後継者が減っていけば祭りを伝える人がいなくなる。その結果、伝統が引き継がれなくなり、祭りそのものがなくなってしまうという最悪の事態を招いてしまう。

私は、そんな暗い未来を見たくない。だからこそ、私にできることなら何でも

したいと思っている。今までは、ほとんど祭りに参加してこなかったけれど、今後は積極的に参加し、祭りを盛り上げる地域の一員になりたいと思っている。

また、「花笠」は、嘉瀬の中でも上嘉瀬と下嘉瀬が行ってきた。限られた中でやっていたら、本当に引き継ぐ人がいなくなってしまう。先に述べたように、中学校のミュージカルの中で、「花笠」を体験した。休日、学校で練習したこともあった。「花笠」を体験した生徒から教えてもらったが、最初は足の動きを合わせるのがやっとで、肝心の「花笠」を回すということができなく、本当に苦労した。しかし、練習を重ねていくうちにどんどん楽しくなり、バラバラだった手足の動きもきちんと合わせられるようになった。全員で一つになれた気がして、とても嬉しかった。そういった気持ちを、私だけでなく、たくさんの人に感じてもらいたい。だから、中谷地を含めた「嘉瀬」という地域全体の祭りとして行っていければいいと考えている。そして、参加人数が増えれば、後継者不足の心配も少なくなると思う。そして、地域全体で協力し合えば、祭りを続けていけるだろう。

最後に、私はこれからの地域がより明るく、より活発になるように、地域のために活躍できる人になりたい。温かな環境である地域、それは私にとって身近にある大切な存在である。そんな中で生活できることにもう一度感謝し、地域のために恩返しができる人になりたい。

## 大形地区

### 青少年育成協議会の活動

「新たな地域連携の模索」



大形地区  
青少年育成協議会

会長 佐藤 清

#### 一、地区の概況

東に阿賀野川、南は日本海東北自動車道に挟まれた田園地域でしたが、現在は、保育園・小学校・中学校・高校・県立大学・特別支援学校と教育環境に恵まれ【田園型学園都市】と呼ばれています。

#### 二、これまでの主な事業活動

**●地域懇談会**  
中学校が荒れていた時代、当時「正常な中学校生活の実現に向けて」中学校の状況を地域の皆さんに理解して頂くために小・中学校PTA、自治会や育成協議会のメンバーは、毎日のように「地域懇談会」を開催して、活発な意見交換を行い、又メンバーの精力的な活動のおかげで、正常な中学校生活に戻っていきましました。

学校関係者、地域団体の皆さんが、それぞれの立場で協力し、活動した成果は、「地域の大きな財産」になりました。

#### ●清掃活動

平成九年から、中学校PTAと生徒会は「地域清掃ボランティア活動」を、スタートさせました。

平成二十一年からは、「地域清掃ボランティア活動」を育成協議会がその運営を継承し、「大形地区地域清掃活動」とし、約二百名が参加する大きな地域行事になりました。



平成二十六年度、東区は「ごみのない美しい東区まちづくり事業」としてまちの美化・環境保全意識を図る取組を推進し、八月の最終日曜日を「区内一斉清掃日」と定めて各コミュニティ協議会単位で地域清掃を行うことになりました。

壁画制作

#### ●壁画制作



国道七号線のバイパス側道トンネルは、生徒たちの通学路であり地域の要所ですが、昼でも暗く夜は人通りの少ない防犯面で不安な場所となっていました。そんな中、地域の皆さんからバイパス側道トンネルを「絵で明るい雰囲気」に出来ないかと、学校に提案して、三年前から中学生の壁画制作が始まりました。地元住民からは壁画のおかげで「落書きや不審者も減り、明るくなった。」と好評です。

壁画の制作活動は、地域にアピールする新たな「場」となり「創造活動の楽しさ」「仲間との連帯意識」「地域を考える一助」になりました。

「コミュニティ協議会や参加団体等の地域ネットワーク（地域信頼関係）の構築を図ることが出来ました。」

#### 三、育成協議専門部会の活動

##### ●健全育成部

- ① 自転車安全教室
- ② 地域と学校情報交換会
- ③ 第十九回ふれあいウォーク・ラリー
- ④ 第三十七回大形剣道教室親善試合
- ⑤ 第十六回大形地区運動会
- ⑥ 友だち・ファミリーバドミントン大会

##### ●街頭育成部

- ① 街頭パトロール
- ② 「こども110番の家」協力店の拡大
- ③ スクールゾーンの管理

##### ●環境整備部

- ① 大形地域安全マップづくり

- ② バイパス側道等の清掃活動
- ③ バイパス側道トンネルの壁画制作

##### ●調査広報部

- ① 広報紙「大形育成協だより」発行
- ② 研修会等の企画運営
- ③ 学校・地域団体との連携協力促進

#### 四、新たな地域連携の模索

##### ●事業の効率的実践のヒント

- ① 地域のニーズを把握する
- ② 事業は各地域団体（コミュニティ協議会等）と積極的に連携し実践する

##### ●これまでの事業実践の成果

- ① 学校（生徒）と地域住民の協力体制が出来た
- ② 各地域団体（コミュニティ協議会等）と連携し信頼感を深めることが出来た
- ③ 地域の企業（事業者）と協力体制が出来た
- ④ 育成協の存在感を地域に示すことが出来た

##### ●今後の活動について

今後、益々「地域力」の発揮が期待される中、「新たな地域活動・地域連携」のネットワークを構築して「子供たちの好ましい人間関係や社会性」を培っていききたいと考えています。又、「生徒達が地域での学習活動やボランティア活動のしやすい環境整備」も重要なテーマと考えます。

「地域の子どもは地域で守ろう！」を合言葉に、関係団体と情報の共有化・連携強化をはかり、地道に粘り強く活動を実践していきます。